

弁護士・学者・宗教者……次々と

「ストップ・安保法制」福井県民集会が

23日、福井市西公園で開かれ、約600人が参加しました。県内の弁護士21人が呼びかけた「憲法違反の安全保障法制改悪反対」のアピールに応え、広範な個人・団体を結集する2回目の取り組みです。

立上がったことを喜びました。

夕方にモ
アピール

四

に反対するデモ行進を実施しました。いつもこの屋休みアモだけではなく、仕事帰りや学校帰りの人たちにもアピールしようと企画したものが、60人が参加しました。山駅南口前の自抜き通りを、「戦争法案絶対反対」「の巻きれ」などとコールしながら行進しました。通りかかって多くの人がデモ行進を注目。コールを「さむ男性もいました。

出発集会では、安保

200

福井で県民集会

呼びかけ人は弁護士とともに学者や宗教者、教員OBにも広がっており、集会ではらんが訴え、島田庄司護憲士は「憲法を守る力はない」と強調しました。

焼秦を求める意志を示す参加者ら=23日、福井市

職は「お祭巡(しゃか)」の開設決定で、どうして変更できるかと厳しく批判。元高校教諭の金森洋司さんは、50人超の退職教職員が戦争法案に反対して

進しました。同僚と参加した団体職員の女性(25)は「平和について本気になつて考えない」と云な
い」と話しました。

集会に参加した日本共産党、民主党、社民党は、予行進のあと、合同街頭演説を行いました。

他の国の戦争に参画する
「戦争立法」ストップ

市すな
市をこわすな!
統領幕僚監部の内部文書問題を国会で追及したことなどを紹介。国民党は国会に隠れて、日米ガイドラインを具体化する自衛隊の暴走は沖合にて許されないと批判し、何としても戦争法案を廃案にしようと風集会後、参加者は宣

二ツアリで宣伝 愛知・岡崎市 覚の石川慶安城議士
愛知県岡崎市で21日、名鉄東岡崎駅前で戦争法案に反対する市民ら70人がラッピングコールで戦争法案反対を通行人に訴えました。幅広い団体、市民らが呼びかけ、日本共産党の本村伸子衆院議員、社民県連の平山良平副代表、新社会の平山良平副代表、新社会実行委員会代表を代表して演説しました。演説は2回目。実行委員会代表（むの）穗高弁護士は、「わざわざ遠くから来て下さる方々がいる中で、安全を守るために必要な安全保障。戦争法案を現実しよう」と述べました。覚派を超えて宣伝は2回目。

集会の参加者と本村議長(中央)＝21日、愛知県岡崎市
の表記について、單には自衛隊と米軍だと防衛大臣が
認めたことを述べ、「憲法違反の政治を変え、戦争法
案廃案に追い込んでいく」と強調し、参加者から
大きな拍手がおきました。

8歳の子どもをもつ女性
(41)は「戦争法案で未来
がどうなるかわからず人生
設計が難しい、と友人と話
しています。子どもの未来
を守るのは親の責任。廃案
にしなければいけない」と
話しました。

8/25
未複

8/25
五海